

一般社団法人

香川県作業療法士会ニュース

発行：(一社)香川県作業療法士会広報部

事務局：〒769-0205 香川県綾歌郡宇多津町浜五番丁62-1

四国医療専門学校 作業療法学科内

(一社)香川県作業療法士会事務局

URL:<http://www18.ocn.ne.jp/~k-ot/> E-mail:kagawa-ot@star.ocn.ne.jp

記念すべき1年！

会長 植野 英一

今年は、我々作業療法士にとって記念すべきことが重なり、思い出深い1年になりそうです。

まずは、アジアで初めての作業療法の国際学会である世界作業療法士連盟(WFOT)大会(4年に1度の開催)が6月に横浜パシフィコで行われました。天皇陛下のご臨席を賜り、厳粛さの中執り行われた開会式に始まり、海外からの作業療法士約1,500名を含めて5,000人以上の参加者が集いました。香川県からは30数名が参加されたと聞いています。学会テーマの「伝統を分かち、未来を創る」をしっかり意識して考える有意義な大会になったと思います。また、大会の開催そのものが「未来を創る」ことになったと考えます。

次に、四国作業療法学会の開催です。今年で25回目を数え、香川県作業療法士会が担当し、学会長の松本嘉次郎先生(四国医療専門学校)のもと、開催されます。1年に1回の開催ですから今年で四国作業療法学会の歴史も四半世紀を迎えることとなります。とても素晴らしいことです。節目を記念する意味には、過去を振り返り(知り)、未来を意識して、現在(いま)歩むという意味があると考えます。WFOT大会のテーマとも合致するところであり、今までの学会運営にご尽力いただいた先生方や学術発表された先生方、そして参加された皆さまに対して敬意を払います。

最後に、個人的なことで恐縮ですが6月で半世紀を迎えました。世界的に見て、男性の平均寿命(WHO2014年版より)の長さで1位はサンマリノの82歳、日本は男女では1位(84歳)であるが男性だけでみれば同率の5位(80歳)であり、我が人生まだまだこれからという気持ちになります。一方、シエラレオネ(45歳)やレソト(49歳)、アンゴラ、中央アフリカ、コンゴ、チャド(それぞれ50歳)といったアフリカ大陸の中央部の国々の平均寿命を知ると色々な人や物に対して感謝の気持ちが湧いてきます。昨年7月から禁煙を行い、健康的な生活を送っているつもりが体重は3ケタとなり、右膝の疼痛や毎晩最長1分15秒程度呼吸が止まって四六時中眠気に襲われ、不健康な状態になりました。健康と不健康はシーソーのようにになっているのだと身を以て学びました。また、SAS(睡眠時無呼吸症候群)に対して、今はCPAP(経鼻的持続陽圧呼吸療法)を付けて寝ていますがこれがまた効果抜群で昼間の眠気は全くと言っていいほど解消され、150mmHg前後あった早朝血圧(収縮期)が130mmHg前後に下がり安定しました。改めて医療のお蔭で寿命が延びているのだと感じています。

誰もが少し油断すると不健康に傾くシーソーを持っています。お互いに健康への傾きを増やすとともに記念すべき1年、それぞれの良き未来を創りましょう！

先輩の声



No. 9 特別養護老人ホーム華
中野 寛子
(9年目)



臨床に出て9年目の暑い夏がやってきました。

現在は丸亀市にある特別養護老人ホーム華で働いています。以前は赤沢病院で勤めていましたが特養を開設するのでオープニングスタッフとして異動してきました。開設当初、OTは一人。介護保険の施設の経験もなく、どうしたらよいのか……と途方にくれました。当時は24歳でOTとしての経験も浅く、がむしゃらに頑張ってきました。今年で31歳。振り返ると毎日忙しくあっという間に過ぎていき悔しい思い悲しい思いもありましたが、それなりに充実し今となっては楽しかったと思える日もたくさんあり良い経験がきていると思えるようになってきました。何事も初めて取り組むことは不安がいっぱいだと思いますが、いつか不安も和らぎ、楽しみに変わる日が来ると思っています。まだまだ経験の浅い私ですが、利用者さんの笑顔を思い浮かべ頑張っている毎日です。



No.10 四国医療専門学校
水上 保孝
(13年目)



『笑顔で元気であること。謙虚であること。そして、常に貪欲であること。』——弱い自分を鼓舞しながら臨床しているうちに13年目となりました。

本年4月から四国医療専門学校の教員となり、12年ぶりに香川へ戻ってきました。3月までは、“越前ガニ”で有名な福井県で急性期リハに携わっていました。発症後1日もしくは数日から始まるリハビリテーション……医療者の立場から考えると当たり前ですが、患者（利用者）の立場で考えると、入院して早々で気が動転している、また障害に対する理解や受容が出来ていない等、医療の流れについていけない状態で、「リハビリテーションが始まる」という状況かと思います。しかし、この慌しく始まる急性期リハに関わる作業療法士の“心意気（粹）”、『粹な作業療法』を展開していくことが、医療・介護連携の中で急性期として果たせる役割ではないかと思い、臨床をしておりました。

4月から教員という立場となり、臨床を伝えることの難しさを痛感しておりますが、“臨床に出てから伸びていく学生”を育てていきたいと思っております。

皆様もそれぞれの分野で思いを巡らせながら臨床をされていることと思います。ただその中で、思い通りにいかないことも多いと思います。そのような時には、同僚や先輩に相談することが第一選択であると思いますが、ぜひ“外へ”も発信して頂きたいと思っております。県士会や県内外の研修会に参加し、多くの方と交流を深めることや学会に参加・発表する……など。案外、同じ悩みを抱えている方が多いと思います。積極的に情報を共有することで、より見識が広がっていくと思います。

グローバルな視点で、作業療法を考えることが出来る。そして、その考えたことを眼前の一人一人の患者（利用者）に反映できる作業療法士と一緒になっていきましょう!!



連載企画
第三弾!

家屋調査



高松協同病院 渡辺 正人



皆さん、こんにちは。3回シリーズの「家屋調査」について、最終回は、実際の事例報告になります。

症例様は、60歳代男性で脳血管障害を発症してADLは車いすレベル、キーパーソン及び介助者は奥様です。生活の主要部分を紹介させていただきます。



【玄関アプローチ及び上り框】

玄関アプローチは、段差から脱輪防止付きの介助勾配のスロープへ変更、水勾配（排水）も配慮、上り框は、簡易スロープ。玄関は通院・通所系サービスなどの外出動線部分で安全と共に安楽な方法を考えました。



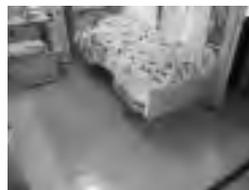
【トイレ】

入り口を開戸から引戸にして有効幅を確保、車いすは回転スペースの小さいものを選定後にハンドリムを取り外して全幅を小さく。手すりは院内で奥様と練習した同様の環境としてL字と突っ張り型縦手すりを併用。



【寝具】

奥様が家事をしながら症例様の様子わかるように居間のレイアウトを変更、ベッド及び付属品をレンタル。



症例様の自宅訪問は本人様と共に2回行い、ケアマネージャーや通所系サービス担当者、福祉用具業者との退院前のケア会議を行いました。



住宅改修と福祉用具の導入については、①ケアプランを達成する一つのツール、②改修・福祉用具に決定するまでの動作練習が重要、③安全性・安楽性・経済性・将来性（耐久性）・個性性を総合的に判断、が大切と考えています。

【入浴について】

施設・通所系サービスも併用、失禁の対応として自宅ではスノコで洗い場段差解消、シャワーキャリー導入。



3回シリーズで皆さんと家屋調査について確認をさせていただきました。少しでもイメージがつかえたり膨らんだりしていれば幸いです。



作ってみよう！自助具紹介コーナー

② 点眼自助具

☆主な対象疾患・対象者

脊髄疾患（頸損等）、RA、上肢リーチに制限のある人、手指の筋力低下のある人。

☆機能・特徴

点眼薬を把持する手指筋力や、目元までのリーチ制限がある方でも点眼できる。

☆留意点

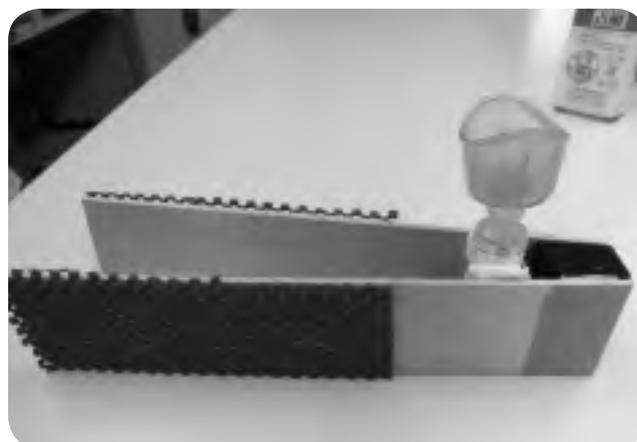
- ① 対象者の状態に合わせて『柄』を選定すること。
※今回のケースの場合、リーチと把持力を補うために「長い」「軽い」「幅広」で選定した。
- ② わずかな力で液が落ちるように、点眼薬と支点になるスポンジの関係性を微調整し、支点と柄の先がV字になるように微調整する。
※今回は支点到黒セルスポンジを使用し、点眼薬の幅が広がるように両面テープで厚みを増し調整した。

☆材料

点眼薬、木板（厚さ2mm）、黒セルスポンジ、らくらく点眼（川本産業）、
滑り止めシート、ガムテープ、両面テープ（強力）

☆制作方法

- ① 木板をカットし柄を作成する。
- ② 黒セルスポンジを点眼薬と同等幅にカットする。
- ③ 黒セルスポンジを柄に挟み、両面テープで接着する。
- ④ 黒セルスポンジと柄をガムテープで止める。
- ⑤ 柄の間に点眼薬を設置する。この時、黒セルスポンジより幅広になるように両面テープ等で厚さを調整する。
- ⑥ 必要があれば、柄の部分に滑り止めシートを貼る。



～リレーエッセイ 33～

林内科呼吸器科医院 伊勢谷友美

デイケアセンターで働きはじめて4年目を迎え、仕事や職場環境にも慣れてきたと感じています。

要介護の方へのリハビリや要支援の方に対する運動器機能向上訓練、訪問リハビリ、一昨年から取り組み始めた認知症短期集中リハビリも行っています。

リハビリだけでなくトイレ介助や食事介助、送迎介助にも関わることができ、勉強になる日々を送っています。

また、私は昨年タクティールケアの研修を受けリハビリの一環として取り入れることがあります。効果はその時によってまちまちですが、それまで顔が強張っていた利用者もタクティールケアを行うと表情が和らいだり笑顔になることもあります。その場面を見ると身体面や生活関連に対するリハビリも大切ですが、心理面へのアプローチもやはり大切なのだと改めて思い知らされます。今後もリハビリの技術を高めるのはもちろん、仕事をする上で役に立つような研修にもどんどん参加して取り入れていきたいと思っています。



病院紹介

No.4



三船病院

三船病院は、昭和28年に精神科治療の主たる手段として作業療法を実践することを目的に開設されました。今現在、長期入院者の退院支援を積極的に行っており、地域精神医療や生活・就労支援活動など幅広い支援をしています。

当院の作業療法士は、作業療法課OTR9名・OTA2名、デイケア室OTR4名、就労移行支援事業所（みなみ）OTR1名の計16名で構成されています。

作業療法課では、精神科急性期治療と重症の慢性期患者様のQOL向上、増加するうつ病や高齢者へのより良い対応を目指して取り組んでいます。一方、地域ではデイケア室や就労移行支援事業所（みなみ）などのスタッフが連携し、生活支援や就労支援を積極的に行っています。個々のニーズに応えながら、地域で支えられるよう努めていきたいと思っています。



～勉強会案内～

第3回日本リハビリテーション栄養研究会四国支部 リハ栄養セミナー

【日時】2014年8月3日(日) 10:30～16:15(受付10:10より)

【会場】高松協同病院 3階会議室

【会費】500円(当日徴収致します)

【定員】40名

【対象】日本リハビリテーション栄養研究会 会員

※入会されていない方は、入会登録後に参加をお申し込みいただく必要があります。

下記リンクより、日本リハビリテーション栄養研究会HPをご確認下さい。

<https://sites.google.com/site/rehabnutrition/>

当番世話人：高松協同病院 医師 植木昭彦

第25回四国作業療法学会

テーマ「いいね！作業療法 ～それぞれの人生のために～」

【日時】平成26年9月6日(土)、7日(日)

【会場】サンポートホール高松(第1小ホール・61、62、63会議室)

【学会組織】主催：都道府県作業療法士会連絡協議会四国支部

担当：一般社団法人 香川県作業療法士会

第3回四国ハンドセラピー研修会「骨折のハンドセラピー」

【日時】平成26年11月2日(日)

【会場】徳島健祥会福祉専門学校

【定員】100名(※先着順)

【申込方法】①氏名②所属施設③所属住所④連絡先アドレス⑤職種

⑥懇親会の出欠を記載し、研修会開催の2週間前までに必ずメールにて申し込む

研修会E-mail：459handtherapy@gmail.com

〈問い合わせ〉

総合病院回生病院リハビリテーション部 四国ハンドセラピー研究会事務局

TEL：0877-46-1011

第16回香川県作業療法学会

テーマ「想いを叶える作業療法」

【日時】平成27年1月18日(日)9:00～16:00

【会場】綾歌総合文化会館 アイレックス

【主催】一般社団法人 香川県作業療法士会

〈問い合わせ〉

総合病院回生病院リハビリテーション部 作業療法課 樋本 英司

E-mail：16kagawa.ot.gakkai@gmail.com



第16回香川県作業療法学会 ご案内とお願い

拝啓 深緑の候、会員の皆様におかれましては益々ご健勝のことと存じ上げます。平素は(一社)香川県作業療法士会の活動に格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

このたび、第16回香川県作業療法学会が開催される運びとなりました。本学会が専門職としての知識研鑽と相互の情報交換、学術向上の場として会員の皆様が交流でき有意義な会と成り得るよう、実行委員一同、学会の成功に向け努力いたしております。つきましては、ご多忙中とは存じますが、学会への多数のご参加と一般演題のご応募を宜しくお願い申し上げます。

末尾になりましたが、会員皆様のますますのご活躍をお祈りいたします。

敬具

記

1. テーマ 『想いを叶える作業療法』
2. 会期 平成27年1月18日(日)9:00~16:00
3. 会場 綾歌総合文化会館 アイレックス
(香川県丸亀市綾歌町栗熊西1680 TEL:0877-86-6800)
4. 主催 一般社団法人 香川県作業療法士会
5. 内容
 - ◎特別講演
「クライアントの想いを叶える5つの作業療法戦略」
横井賀津志 先生(関西福祉科学大学 准教授 作業療法士)
 - ◎指定演題
「リクエストは作業療法」
石濱 実花 先生(プライマリケア訪問看護ステーション 作業療法士)
「地域で求められる感性とは……就労支援の現場から」
難波 和広 先生(ワークサポートセンター三愛 就労移行支援 作業療法士)
 - ◎ワークショップ
「移乗動作の関連福祉用具にふれてみよう」
渡辺 正人 先生(高松協同病院 作業療法士)
 - ◎一般演題
県士会員による公募
6. 参加費 会員:1,000円、非会員:2,000円、他職種・一般・学生:無料
7. 生涯教育ポイント 2ポイント

以上



〈第16回香川県作業療法学会事務局〉
総合病院 回生病院 リハビリテーション部
作業療法課 樋本 英司
〒762-0007 香川県坂出市室町3丁目5番28号
TEL:0877-46-1011 / FAX:0877-45-6410
E-mail:16kagawa.ot.gakkai@gmail.com

第16回香川県作業療法学会 特別講演にお招きする横井賀津志先生のご紹介をさせていただきます。

【所属】

関西福祉科学大学 保健医療学部 リハビリテーション学科 作業療法学専攻 准教授

【専門分野】

老年期障害作業療法学、地域作業療法学

[専門分野について]

認知症の方が安心・安定した暮らしができるように、その人のこれまでの生き様を分析し意味のある作業活動を提供することを研究しています。また、高齢者に対する認知症予防および転倒予防のためのフィールド調査を実施しています。

【著書】

私たちのハウツウ地域リハ(三輪書店)

老人施設のリハビリテーション(三輪書店)

理学療法士・作業療法士・言語聴覚士のための解剖学 第3版(廣川書店)

介護福祉士養成シリーズ2「生活支援技術」(黎明書房)

作業療法が関わる医療保健、介護保険、自立支援制度の手引き2010(日本作業療法士協会)

転倒予防のための棒体操 運動機能と認知機能へのアプローチ(三輪書店)

介護実習入門 介護福祉士養成シリーズ第5巻(黎明書房)

【研究助成】

大阪ガスグループ福祉財団研究調査助成

社団法人大阪府作業療法士会学術部研究会助成

社団法人日本作業療法士協会 課題研究助成

第7回花王健康科学研究助成(分担研究者)

姫路市介護予防支援活動研究事業助成



(社)香川県作業療法士会保険部について

保険部長 川崎 眞一



梅雨空が広がり、日中は蒸し暑い日が続く今日この頃、県士会員の皆様におかれましてはいかがお過ごしでしょうか。

広報部からこの「保険部紹介」の依頼が来たのはサッカーワールドカップが始まるころでした。連日ニュース等で大きく取り上げられていましたが、職場では高齢の方が多く盛り上がり方にギャップを感じています。サッカーにおいてもLaws of the Gameは少しずつ改正されており、開幕戦では3人の日本人が審判を務める等、試合を左右するジャッジにも興味を惹かれます。

私達作業療法士もほとんどの場合、医療保険・介護保険法に沿って仕事をしています。

本年度は診療報酬が改定されました。その基本方針は「入院医療・外来医療を含めた医療機関の機能分化・強化と連携、在宅医療の充実等に取り組み、医療提供体制の再構築、地域包括ケアシステムの構築を図る。」です。それに沿って身体障害・精神障害領域がそれぞれ改定され、業務を遂行されていることと思います。

また6月18日には介護保険や医療提供体制を見直す「地域医療・介護総合確保推進法」が参議院本会議で可決、成立され、今後具体的な基準が政令で決定していく予定です。

保険部の業務はこのように改正されていく医療保険・介護保険法などの関係法規等に関する情報を日本作業療法士協会などから得て、県士会員の皆様へ情報を提供しています。また、改正に伴う施設基準や現状などのアンケート調査を行ったり、関係機関の協力を得て研修会などを開催したりしています。

本年度は昨年度の「喀痰吸引に関するアンケート調査」で希望の多かった研修会の開催を予定しています。また昨年度行った「生活行為向上マネジメント研修会・概論」に続き、「演習」を計画しております。いずれもふるってご参加をいただけたらと思います。

県士会員の皆様には保険部の活動にご理解いただき、今後の活動にご協力をお願いいたします。



学術部からのお知らせ

平成26年度の学術誌は、昨年度より充実したものにし、県士会員の皆様に提供していきたいと考えております。

つきましては、

- ① レクリエーション・アクティビティ・自助具・スプリントなどオリジナルのアイデアカードを出していただける方
- ② 四国学会・全国学会等、他で発表する予定のない、オリジナルの原稿を出していただける方
- ③ 平成27年1月に開催される県学会で演題発表される方

以上、①～③に該当する方に、掲載していただける原稿を募集しております。

①②に関しましては今年度の学術誌に、③に関しましては来年度の学術誌に掲載させていただこうと考えております。なお、ISSNを登録しているので編集委員(その分野の経験ある県士会員)からの修正、加筆をお願いすることがあるかもしれませんのでその際はご了承、ご協力よろしくお願いたします。

詳しくは下記連絡先までお問い合わせ下さい。ご協力よろしくお願いたします。



〈お問い合わせ先〉

〒768-0013 香川県観音寺市村黒町739

医療法人ブルースカイ 松井病院

リハビリテーションセンター

作業療法士 岩田恵里

TEL 0875-23-2111 / FAX 0875-23-2100

Eメール：jimu@matsui-hp.com

広告掲載についてのご説明

●広告のサイズと料金(1掲載につき)

1 ページ	たて24cm×よこ16cm	40,000円
1/2 ページ	たて12cm×よこ16cm	20,000円
1/4 ページ	たて12cm×よこ8cm	10,000円

(一社)香川県作業療法士会賛助会員はそれぞれ半額となります。

●広告の原版について

鮮明なものに限ります。写真・マークなども掲載できます。

いただいた原版はそのまま印刷されますので、サイズに収まるよう作成し、期日までにお送りください。(原版1部、コピー1部)

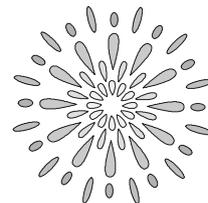
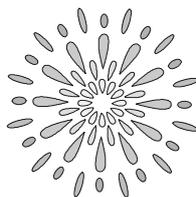
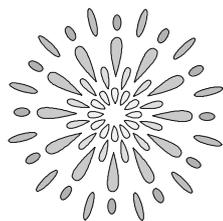
*ただし印刷の都合上若干、形などが変わることがあります。

掲載希望の方は、滝宮総合病院 作業療法士 木村勇介までご連絡ください。

TEL 087-876-1145 FAX 087-876-1302



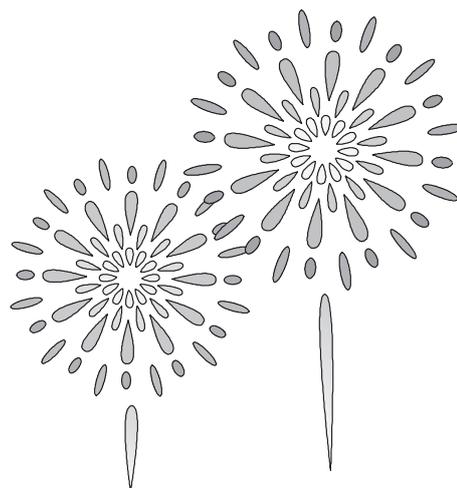
事務局連絡



- 入 会**
- | | |
|----------------------------|-------------------------|
| 田村 文彦 (リハビリ本舗 び〜ちデイ) | 岩内 宏達 (橋本病院) |
| 水上 保孝 (四国医療専門学校) | 植田 祥子 (西山脳神経外科) |
| 小椋 昌美 (四国こどもおとなの医療センター) | 指山 真希 (松井病院) |
| 守谷 直樹 (介護老人保健施設 やすらぎの森) | 森 優美恵 (松井病院) |
| 川嶋真紀子 (特別養護老人ホーム シオンの丘ホーム) | 岩倉 茜 (西香川病院) |
| 中坂 美保 (池田内科医院 デイケアステップ) | 糸川 洋介 (森川整形外科病院) |
| 伊藤由貴奈 (かがわ総合リハビリテーション) | 藤田 英輔 (永生病院) |
| 岡田 香 (五色台病院) | 高橋 宏暢 (県立中央病院) |
| 菊見 勇人 (香川井下病院) | 眞鍋 知佳 (橋本病院) |
| 池田友梨亜 (三豊総合病院) | 二宮 健人 (阪本病院) |
| 藤田 唯 (西香川病院) | 森藤 拓也 (橋本病院) |
| 橋本 沙知 (橋本病院) | 嶋 亜津沙 (橋本病院) |
| 寒川 実佳 (橋本病院) | 高坂 順子 (マオカ病院) |
| 寒川 拓実 (橋本病院) | 山田 啓介 (いわき病院) |
| 岡田 康紀 (高松平和病院) | 久米健太郎 (穴吹リハビリテーションカレッジ) |
| 西村 卓也 (高松平和病院) | |

- 異 動**
- 小林 真紀 (松井病院)→(自宅)
 宮本 一巧 (デイケアおさか)→(りつりん病院)
 森上 裕之 (自宅)→(りつりん病院)
 大平 一文 (三豊総合病院)→(聖マルチン病院)
 平野 美香 (自宅)→(公益社団法人香川県看護協会 高松訪問看護ステーション)
 森 拓也 (まえだ整形外科医院)→(西山脳神経外科)
 永江 史代 (自宅)→(いきいき荘)
 大久保直宗 (キナシ大林)→(ふじた医院)
 十河 蓉子 (生協みき)→(高松協同)
 川崎 真一 (りつりん病院)→(川口医院)
 藤本 恵理 (りつりん病院)→(老健福寿荘)
 田村真菜美 (西香川病院)→(滝宮総合病院)

- 退 会**
- 倉本 千春
 内田 史規
 清家 庸佑
 篠原 順華
 福原 慶美



■(一社)香川県作業療法士会ニュースNo62■

編集長：木村勇介 編集委員：渡田亜裕美・西城悠加・松江沙祐里・眞鍋千絵・川口由起子・亀山多喜子・香川真実・水口未紅・大岸未佳・西岡奈菜・津崎裕也